

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 12030010

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 生涯学習・生涯スポーツの推進	事 業 優 先 度	A	
単位施策	3 図書サービスの充実	政 策 事 務 分 類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	読書促進事業	見 直 し 年 度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関 係 課	5 保健福祉課	
事業指標	町民1人あたり貸出冊数		8 保育所	
事業目標	町民1人あたり貸出冊数10冊	ハート/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
町民参加	有	関係例規・法令名	無	
町民協働	読み聞かせ等におけるボランティアの活用	関係個別計画名	有	第9次社会教育中期計画、第3次子どもの読書活動推進計画

全 体 計 画		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書サービスの充実 ・図書購入 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会等の各種イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 2,500冊 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・新図書館オープンに向けた プレイベント(絵本作家による ワークショップ、大人又は親子 を対象とした朗読会、愛称募 集事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 200点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・新図書館オープン記念事業 (講演会、ワークショップ等) ・映画上映会、工作会等の各種 イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント 	
	事業費(千円)	34,852	4,380	10,372	6,700	6,700	6,700
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	34,852	4,380	10,372	6,700	6,700	6,700	
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	14,472	4,280	10,192	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	財政調整基金	【評価・実績】	(実施内容等) 図書・絵本購入(2,584冊) ブックスタート 5回実施、29人に配付 配本～雄武小 年間2,800冊 豊丘小 年間1,500冊 移動図書館 145人利用、493冊貸出 プレイベント(おはなしの会)の実施 ※事務事業評価結果 B-継続/拡充	(実施内容等) 図書・絵本購入(4,321冊) ブックスタート 2回実施、18人に配付 配本～雄武小 年間1,980冊 配本～豊丘小 年間 900冊 移動図書館 171人利用、387冊貸出 映画上映会、工作会の実施 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	98%	98%	0%	0%	0%
		全体達成率	12%	42%	42%	42%	42%
		備考欄					

事業名	読書促進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	図書業務係長	櫻井 輝久

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書購入冊数3,500冊、町民1人当たり貸出冊数10冊								
抱える課題やニーズ	資料の計画的な収集、企画展示の開催などにより、読書活動を促しているものの、貸出冊数にあまり反映されておらず、目標値を達成できていないという課題を抱えている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	利用者のニーズに応じた資料の収集・提供及び、読書活動に関連する各種展示及びイベント等による読書の促進。	① 図書購入冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3500冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4321冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>123.5%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	3500冊	実績値	4321冊	達成度	123.5%
目標年度	令和元年度										
目標値	3500冊										
実績値	4321冊										
達成度	123.5%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民の幅広ニーズに対応した資料の提供による読書活動の促進により、町民の生活向上及び地域の活性化を図る。	② 1人当たり貸出冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10.00冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5.96冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>59.6%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	10.00冊	実績値	5.96冊	達成度	59.6%
目標年度	令和元年度										
目標値	10.00冊										
実績値	5.96冊										
達成度	59.6%										
内容(どのような手段で何を行ったか)	<p>① 図書購入(絵本含む)</p> <p>② 年間貸出</p> <p>③ 移動図書館・配本・ブックスタート 新図書館開館セレモニー、映画上映会等各種事業</p>	<p>図書購入冊数～4,321冊(目標値対比821冊の増、前年度対比1,737冊の増)</p> <p>年間貸出冊数～33,084冊(前年度対比123冊の減)、年間貸出人数～6,976人(前年度対比212人の減)</p> <p>ブックスタート～「はじめてのお誕生会」の場で2回実施し、18人に配布。 配本～雄武小学校、豊丘小学校を対象に計2,880冊を配本。移動図書館～従来の沢木地区のほか、分散登校時に臨時的に実施。 バルーンアートワークショップ、ハロウィンイベント等を実施したほか、各種展示会を行った。</p>									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	地域の情報拠点として位置付けられる図書館において、蔵書を充実し図書館利用を促進することは、町民の生涯学習の推進のため必要であり、ひいてはまちづくりを担う人材の育成につながり、地域の活性化に寄与するものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	開館日数が昨年度より少ない影響もあり1人あたり貸出冊数は目標達成に至っていないが、1日当たりの利用人数は増加、貸出冊数は微増となっていることから、町民ニーズに応じ適切に読書活動を推進できていると考える。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	図書購入に係る経費は、図書館に対する町民ニーズに応えるための必要なコストであり、図書購入の際には町民ニーズを踏まえた選書や購入冊数等の精査を行っており、効率的に執行している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	図書館は町民の誰もが利用できる空間であるとともに、町民のニーズに応じた図書の整備を図っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
新図書館開館準備や新型コロナ対応による臨時休館のため、開館日数が減少したことに伴い、1人当たり貸出冊数は目標値に達していないが、1日当たりの利用は増加しているほか、計画的に資料を購入することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
資料の計画的な購入と整理、企画展示の充実等による図書館サービスの更なる向上を引き続き行い、読書活動の促進を図る。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 12030020

政策目標	3	【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成25年度 調査・まとめ 平成26年度 基本計画策定開始 平成27年度 基本計画策定完了、 建設敷地現況測量業務委託：1,901千円 平成28年度 基本計画策定完了、プロポーザルに向けた準備 平成29年度 プロポーザル、基本設計・実施設計業務委託：45,792千円 建築確認・構造計算適合性判定：500千円
基本施策	12	生涯学習・生涯スポーツの推進	事 業 優 先 度	A		
単位施策	3	図書サービスの充実	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町図書館建設事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和2年度		担 当 課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	11	建設水道課(建築)	
事業指標	図書館建設			10	建設水道課	
事業目標	図書館建設 1施設		ハート/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	図書館法、建築基準法	
町民協働	無		関係個別計画名	有	図書館整備基本計画	

全 体 計 画		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	● 新図書館建設	<ul style="list-style-type: none"> ・本体工事 499,576千円 ・道路・上下水道既設工作物撤去 9,482千円 ・施設周辺整備 14,364千円 ・駐車場・フロア整備 4,590千円 ・工事監理委託 15,660千円 ・完了検査 318千円 ・土地購入代 2,130千円 ・備品購入 71,382千円 ・図書管理システム(1次導入) 4,158千円 ・郷土資料展示制作・施工 27,540千円 ・既存施設解体 28,330千円 (平成29年度からの繰越明許費) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外構工事 45,300千円 ・監視カメラ設置工事 1,000千円 ・新図書館への移転経費 1,141千円 ・図書管理システム(2次導入) 9,486千円 ・備品購入 16,320千円 ・消耗品 100千円 ・絵画運搬 250千円 ・愛称商標登録委託料 103千円 ・公用車購入 1,500千円 	・用地確定測量 4,114千円		
	事業費(千円)	728,514	649,200	75,200	4,114	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	322,800	277,500	45,300		
	その他	371,700	371,700			
一般財源	34,014		29,900	4,114		
実績事業費	事業費(千円)	722,362	649,080	73,282	0	0
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	321,900	277,500	44,400		
	その他	0				
一般財源	400,462	371,580	28,882			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	財政調整基金	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等)	(実施内容等)		
	過疎対策事業債		本体工事一式、外構工事、工事監理 備品購入 図書館管理システム導入 郷土資料展示 既存施設解体	外構工事、監視カメラ設置工事 新図書館への移転経費 図書管理システム(2次導入) 絵画運搬 愛称商標登録委託料 公用車購入		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			A-継続/現状維持	A-継続/現状維持		
			図書館建設1施設	図書館建設1施設	図書館建設1施設	
	第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	100%	97%	0%
後期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	89%	99%	99%	99%	99%
	備考欄					

事業名	雄武町図書館建設事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	図書業務係長	櫻井 輝久

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書館整備に係る各種工事、備品購入等の完了	
抱える課題やニーズ	図書館は地域の情報拠点であり、町民の誰もが居心地の良い場所として利用できる空間であるが、旧図書館は施設が狭隘なため、町民ニーズに十分応えることができていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	十分な閲覧スペースや学習スペース、蔵書を備えた新たな図書館を整備することにより、地域の情報拠点としての役割を果たし、町民の生涯学習の推進と地域の活性化に寄与することを目指す。	① 図書館建設工事	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	いつでも、誰でもが気軽に立ち寄れる居心地の良い空間となることにより、幅広い町民のコミュニケーションの場となり、町民の生涯学習の推進と地域の活性化が図られる。		目標値	1施設
内容(どのような手段で何を行ったか)	① 図書館整備工事 ② 図書館備品購入 ③ 絵画運搬・搬入・展示	外構工事、監視カメラ設置工事、庁内イントラ設備構築工事を実施した。 各種サイン、机・椅子等の置き家具のほか、公用車の購入を実施した。 雄武町出身である小田切訓画伯寄贈絵画の運搬・搬入・展示を実施した。	実績値	1施設
			達成度	100.0%
			目標年度	令和元年度
			目標値	1施設
			実績値	1施設
			達成度	100.0%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	現図書館が抱える課題解決のため、地域の情報拠点となる新図書館の整備は、町民の生涯学習の推進と地域の活性化のために必要なものであり、行政が推進すべきものである。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		計画どおり一連の工事、物品購入等を実施した。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		各種工事、備品購入等については指名競争入札により事業費の抑制を図ることができたほか、専門性の高い郷土資料展示業務については、当町を熟知している業者と随意契約により実施し、コスト、専門性を勘案しながら事業を行うことができた。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

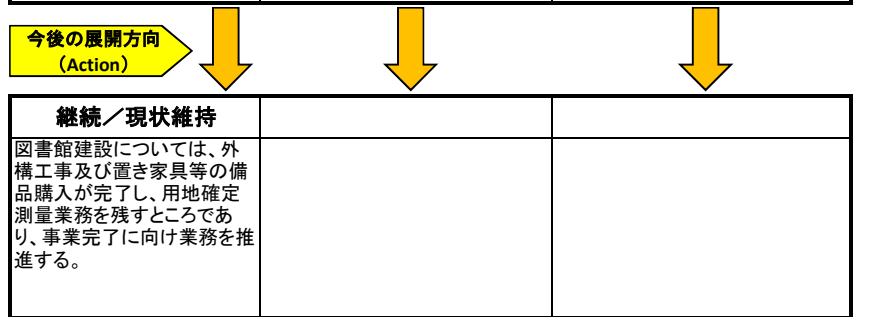
公平	判断の理由		図書館は、町民の誰もが居心地の良い場所として利用できる空間であるとともに、新図書館の整備は町民のニーズに応じたものであることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
設計に基づき、図書館の外構工事、備品の導入を行うことができたほか、計画どおり絵画の運搬・搬入・展示を実施できた。		



※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止